

海外安全対策情報（平成29年度第3四半期）

1 社会・治安情勢

一般的には不安定な要素はなく、対日感情も良好。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) ロサンゼルス市警察の発表する統計によると、2017年、12月16日までの同市警察管内の殺人事件発生件数は271件、暴行、強姦、強盗等を含めた暴力犯罪の総発生件数は前年同期比3.8%増の28,481件となっている。また、殺人事件は前年比6.2%減でやや減少しているものの、危険な地域への移動、深夜の行動等には引き続き注意が必要である。

住居侵入、車両盗難及び車上荒らし等、財物に対する犯罪については、前年度比1.0%増の95,495件となっており、旅行者については、食事時の盗難、路上駐車中の車上荒らし等窃盗の被害を受ける傾向にあるので、貴重品の管理には特に注意が必要である。

1月1日から12月16日までの罪種別犯罪件数については、以下のとおり。

事件種別	2017年(件)	2016年(件)	同期比(%)
殺人	271	289	▽6.2
強姦	1,726	1,933	▽10.7
強盗	10,386	9,823	▲5.7
暴行	16,098	15,401	▲4.5
住居侵入	15,610	14,981	▲4.2
車両盗難	18,245	17,925	▲1.8
車上荒らし	30,920	30,022	▲3.0
窃盗	30,720	31,627	▽2.9
合計	123,976	122,001	▲1.6

(2) 日本人被害事案

日時	場所	概要
11月12日	サンディエゴ	無理心中を図った夫に、妻である邦人女性が銃殺される。
11月20日	チャイナタウン	滞在中に親しくなった男性と食事に出た際、荷物を預けたところ、そのまま盗まれる。
12月18日	インターネット上	インターネットを通じて親しくなった者から「ロスで会った際に必ず返すからお金を送って欲しい」と頼まれ送金したところ、その後音信不通となる。
12月26日	国境	サンディエゴから陸路でメキシコに入国したとこ

		ろ、女性に携帯電話を奪われ、その後待ち伏せした2名の男性に首を絞められ意識を失う。気が付いた頃には全ての持ち物を奪われていた。
--	--	-----------------------------------------------------------------

(3) 日本人以外の被害事案（最近の凶悪犯罪）

日 時	場 所	概 要
11月13日	ベルフラワー	10代の男性2名が何者かに銃撃される。1名死亡、1名負傷。
11月17日	サンディエゴ	ホームレスの男性が何者かに焼かれ死亡。
11月22日	ハリウッド	34歳男性がスクリュードライバーで路上の女性を刺し、その後近隣ホテルでナイフを入手、従業員2名及び路上の男性を刺傷。
12月15日	ハンティントンビーチ	銃撃を受けた女性が搬送先の病院で死亡。犯人の男性はその場で自殺。
12月29日	ロングビーチ	58歳男性が法律事務所内職員に対し銃撃、1名死亡、1名負傷。犯人は犯行後自殺。

3 テロ・爆弾事件発生状況
関連情報なし。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

日 時	場 所	概 要
10月 4日	サンタクラリタ	12歳の少女が路上を走っていたところ、車で近付いてきた40代の男性に無理やり連れ込まれる。数分間の走行の後自力で脱出。
10月23日	パサデナ	73歳の元警察官が、犬を散歩中の女性を自身の車に無理矢理乗せ込もうとしたところ、女性の抵抗に遭い失敗。その後別の女性の喉を切り付け逃走。
12月14日	アーケディア	40代の男性がインターネット上の商品を販売するため客の車に乗り込んだところ、武装した3人組に囲まれそのまま連れ去られる。数時間後車外に出されるも、持ち物は全て奪取される。

5 日本企業の安全に関わる諸問題
関連情報なし。